

第二期中期目標と第三期中期目標（案）の施策体系について（比較）

第二期中期目標

第三期中期目標(案)

【考え方等】

第1 基本的な目標

第1 基本的な目標

1 兵庫県立大学 ～次代を先導する世界水準の大学～

1 兵庫県立大学 ～次代を先導する世界水準の大学～

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 国内外で自立し活躍する次代を担うリーダーを育成する大学
② 次代を切り拓く先導的・創造的な研究を推進する大学
③ 兵庫の強みを生かし、地域の未来の活力創出に貢献する大学

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 国内外で活躍できる創造力と自律性を有する人材を育成する大学
② 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学
③ 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

将来構想の中で、大学がめざす将来の姿を参考に、①教育、②研究、③社会貢献において目指すべき大学像を改める

2 芸術文化観光専門職大学 ～芸術文化及び観光の双方の視点で社会に貢献する大学～

2 芸術文化観光専門職大学 ～芸術文化及び観光の双方の視点で社会に貢献する大学～

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学
② 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学
③ 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学
② 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学
③ 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

第2 教育、研究及び社会貢献に関する目標

第2 教育、研究及び社会貢献に関する目標

1 兵庫県立大学

1 兵庫県立大学

(1) 国内外で自立し活躍する次代を担うリーダーを育成する大学

(1) 国内外で活躍できる創造力と自律性を有する人材を育成する大学

- ア グローバル社会で活躍できる人材の育成
イ 地域のニーズに応える専門人材の育成
ウ 高度な専門性を有する人材の育成
エ 総合大学の強みを生かした幅広い知識を有する人材の育成
オ 人材育成に向けた教育システムの構築
(ア) 時代の変化に対応した人材育成の仕組みづくり
(イ) 多様な学生のニーズに的確に対応した支援の実施
(ウ) 中高大連携の推進

- ア グローバル社会で活躍できる人材の育成
イ 地域を支える専門人材の育成
ウ 社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材の育成
エ 総合大学の強みを生かした幅広い知識を有する人材の育成
オ 人材育成に向けた教育システムの充実
(ア) 教育の質保証
(イ) 多様な学生の確保
(ウ) 学生支援の充実
(エ) 中高大連携の強化

・公立大学としてより一層地域に貢献できる人材育成が求められていることから文言を修正
・急速なDX化に対応した専門分野の知識・技能を有する人材育成が急務とされていることから改める
・国において、学修者本位の大学教育を実現する観点から、質保証システム全体の見直しをしており、入口から出口まで質保証を伴った大学教育改革を実現するため改める
・文言を修正 ビジョン:附属高校・SSH等との連携強化

(2) 次代を切り拓く先導的・創造的な研究を推進する大学

(2) 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学

- ア 高度な研究基盤を活用した先端研究の推進
イ 地域資源を活用した研究の推進
ウ 兵庫の先進的な取組を活用した研究の推進

- ア 高度な研究基盤を活用した先端研究の推進
イ 兵庫の先進的な取組を活用した実践的な研究の推進
ウ 社会課題の解決に向けたイノベーションの創出

・レジリエンなまちづくりと災害対応への支援強化に資する実践的な研究を推進するため、文言を修正 ビジョン:レジリエンなまちづくり
・複雑化する社会課題に対応するため、あらゆる知の融合による総合知を活用した取組を推進するため改める ビジョン:総合知の共創

(3) 兵庫の強みを生かし、地域の未来の活力創出に貢献する大学

(3) 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

- ア 未来社会を先導する産学官連携の推進
イ 大学が有する資源の地域社会における活用
ウ 次世代の兵庫を担う人材の県内定着など地域の期待に応える取組の推進

- ア 未来社会を先導する産学官連携の推進
イ 兵庫の強みを生かした災害に強い地域づくりへの貢献 新規
ウ 共創による持続可能な地域づくりの推進
エ 次世代の兵庫を担う人材の育成と地域の期待に応える取組の推進

・県・大学・機構の三位一体の取組強化が求められていることから新たに項目として追加 ビジョン:レジリエンなまちづくり
・地域のシンクタンクとして総合知を活用した研究成果を社会実装することが求められていることから改める ビジョン:総合知の共創
・法人評価委員からの意見を踏まえ、文言を修正

2 芸術文化観光専門職大学

2 芸術文化観光専門職大学

(1) 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学

(1) 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学

- ア 芸術文化及び観光のマネジメント能力を有する専門職業人の育成
イ 地位活性化に貢献する専門職業人の育成
ウ 世界に通じる専門職業人の育成
エ 人材育成に向けた教育システムの構築
(ア) 芸術文化及び観光の双方の視点を培うカリキュラム
(イ) 新たな学びの手法による実践力の養成
(ウ) 段階的かつ重層的に体系化した実践教育
(エ) 産業界と地域社会との連携

- ア 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして新たな価値を創造できる人材の育成
イ 地域活性化に貢献する専門職業人の育成
ウ 世界で活躍できる専門職業人の育成
エ 人材育成に向けた教育システムの充実
(ア) 多様な学生の確保
(イ) 特色ある先進的な教育の推進
(ウ) 学生支援の充実

・大学が育成する人材像に合わせて、文言を修正
・より実践的なグローバル人材の育成を目指し、文言を修正
・新たな時代を見据えた教育システムの充実が求められていることから、改める

(2) 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学

(2) 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学

- ア 専門職大学の強みを生かし、地域活性化に資する研究活動の推進
イ 研究成果の社会への還元

- ア 専門職大学の強みを生かし、地域活性化に資する研究活動の推進
イ 研究成果の社会への還元

(3) 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

(3) 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

- ア 大学が有する資源の地域社会における活用
イ 大学の長を生かした地域貢献の推進
ウ 芸術文化及び観光に係る国際交流の推進

- ア 大学が有する資源の地域社会における活用
イ 大学の長を生かした地域貢献の推進
ウ 芸術文化及び観光に係る国際交流の推進

第3 管理運営に関する目標

第3 管理運営に関する目標

1 戦略的経営の推進

1 戦略的経営の推進

- (1) 社会ニーズの変化に対応できる体制の構築
(2) 魅力発信と知名度向上
(3) 教育研究基盤への計画的な新規投資
(4) 両大学間の連携

- (1) 社会ニーズの変化に対応できる体制の構築
(2) 魅力発信と知名度向上
(3) 教育研究基盤への計画的な新規投資
(4) 両大学間の連携

2 効率的経営の推進

2 効率的経営の推進

- (1) 経営資源の重点配分・相互利用
(2) 安全・快適な環境の計画的整備

- (1) 経営資源の重点配分・相互利用
(2) 安全・快適な環境の計画的整備

3 自律的経営の推進

3 自律的経営の推進

- (1) 財務運営の改善
(2) 自己点検・評価及び情報の提供
(3) コンプライアンスの推進
① 法令の遵守
② 安全管理体制の確保

- (1) 財務運営の改善
(2) 自己点検・評価及び情報の提供
(3) コンプライアンスの推進
① 法令の遵守
② 安全管理体制の確保

・4年目終了時に中間評価が法定されており、2年連続して見直しを実施する必要がない。
・見直し規定を置いている県は他にない。中期計画の実効性を担保するため、情勢変化に応じて随時見直しをすれば足りる。業務量を軽減するため、年度評価を廃止した法の趣旨にも合致する。

第4 中期目標期間

第4 中期目標期間

1 期間 令和元年4月1日から令和7年3月31日

1 期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日

2 目標の見直し

2 目標の見直し

中期目標の計画期間の3年が経過した段階で、業務の全般についての検証を行い、必要に応じ、中期目標、計画の見直しを行う。

削除